



《11月の番組ガイド》

鳥取市行政番組

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の
取り組み状況、各種行事、
お知らせを紹介します。



図書館がますます便利に

《今月の特集》

- ・合併2周年『とっとりきらめき祭』
- ・図書館がますます便利に!! (新電算管理システム)
- ・市民政策コメント『鳥取市国民保護計画』
- ・税を考える週間

NEW 『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火

市内のイベント・祭・展覧会などを盛りだくさんに紹介します。

《企画コーナー》

図書館だより・きょうの給食・まちなかギャラリーなど

特別番組 『とっとりきらめき祭』【放送】11月下旬予定

今年あさかのきらめき祭は、姉妹都市の福島県郡山市から安積れいめい黎明高校合唱部を招いて、合唱をテーマに開催されます。
※放送予定は「こんにちは鳥取市です」でお知らせします。

静止画文字情報 『鳥取市からのお知らせ』



イベント・募集・相談などの
各種お知らせを、番組と番組
の間に、繰り返し放送します。

農業番組 『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

西条柿などの出荷の様子や、恒例となった「とっとりきのご祭り」、豊作を祝う催事の様子をお伝えします。

自主制作番組 『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

収穫の時期を迎え、各地で盛んに行われているまちとむらの交流や、子どもたちの農業体験の様子を紹介します。

《放送時間》

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| ① 6:30 | ② 7:30 | ③ 8:30 | ④ 9:30 | ⑤ 10:30 |
| ⑥ 11:30 | ⑦ 12:30 | ⑧ 13:30 | ⑨ 14:30 | ⑩ 15:30 |
| ⑪ 16:30 | ⑫ 17:30 | ⑬ 18:30 | ⑭ 19:30 | ⑮ 20:30 |
| ⑯ 21:30 | ⑰ 22:30 | | | |

手話番組 『手話でコミュニケーション』【放送】毎週金・土

鳥取市の各種行事やお知らせを手話で紹介します。また、手軽な手話講座「やさしい手話」をお送りしています。

《放送時間》

- ① 7:00 ② 10:00 ③ 13:00 ④ 18:00 ⑤ 21:00

情報をお寄せください!

いなばぴよんぴよんネット ☎ (0857)22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



稽古場として使っている
西中学校相撲場

りの強さが伝わってきます。
「ぶつかり稽古で、子ども
たちの成長が分かる。これが
出来なくなったら、指導は出
来ない」と小村さんは話され
ます。

最後は近い学年同士での取
り組みです。「はつけよいの
こった」「頑張れ頑張れ!」も
うひと押し」小村さんの声ば
かりではなく、見に来ている
保護者の声にも力が入りま
す。まるで大相撲の取り組み
を見ているよう。稽古とは言
え、負けるとくやしいので子
どもたちも真剣です。
取り組みが行われている間

も、ほかの子どもたちは周り
でスクワットや腕立て伏せな
どをしています。しかし、最
初はまじめにしているも、お
しゃべりで盛り上がってしま
うこともしばしば。普段やさ
しく指導している小村さんも
そんなときは厳しく叱ります。
緊張感がなくなると、大きな
怪我につながるからです。
がっしりとした子どもから
ぶつかる骨が折れてしまう
のではないかと心配になるよ
うな子どももまで様々な体型の
子どもがいる中、小村さんが
頭を悩ませるのが個々の特徴
を活かしながらの指導。「基

本的には子どもの相撲の内容
を見て、どんな相撲を取りた
いと思っているのかを見いだ
し、尊重しながら、そこを伸
ばすような指導をしている。
子どものうちは、好きなよう
に取らせてやるのが一番「子
どもの可能性をつぶすことな
く育てたい、という小村さん
の思いが伝わってきます。

挨拶・返事・感謝

稽古場には、「挨拶・返事・
感謝」と書かれた紙が貼って
あります。
指導方針は、相撲が強くな
ることよりも、まずは人間と

して成長すること。これは道
場を開いた時から変わってい
ません。そして『挨拶が出来
るようになること』『人の痛
みがわかる人になること』『う
そをつかないこと』などの目
標を立て、それを守りながら
日々稽古に励んでいます。
最後に将来の夢をたずねる
と、小村さんは「道場から巣
立った子どもたちが、相撲を
続け、いずれば指導者として
鳥取で活躍してほしい。指導
者としてまだまだ未熟だが、
その力になりたい」と話しま
す。この熱意は、子どもたち
に伝わっていることでしょう。